「QS72」用六角形テントA型
組立・取扱説明書

川上産業株式会社

2014年5月

- 注意事項とお願い　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
- テントセット内容　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3
- 六角形テント寸法図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P4
- 六角形（QS72組み込み）寸法図・・・・・・・・・・・・・・・・・ P5
- 1 テント部の組立・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P6
- 2 QS72の六角形テントへの組み込み・・・・・・・・・・ P13

本製品の保証期間は
仮設という概念から1年と致します

注意事項とお願い

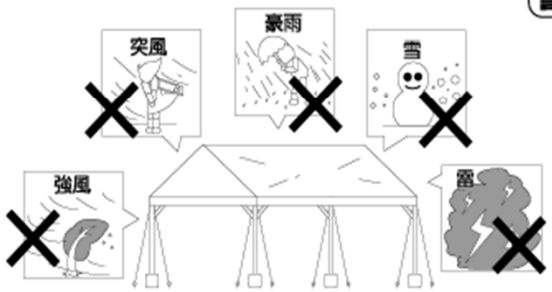
＊必ずお読みください

正しくお使いいただくために

1．取扱説明

☆この集会用テントは、短期間簡易的に使用することを目的に製造されたものです。
☆組立設置、解体撤去の際は、安全のためにも手袋をご使用下さい。
☆このテントはパイプを使用しています。足元に落としたり、
　手や指を挟んだりすると大変危険です。取扱には十分ご注意下さい。
☆組立設置の前に、破損箇所がないかよく確認して下さい、もし破損箇所がある場合は決して
　使用しないで下さい。
☆メーカーの許可なく修理、または改造をしないで下さい。

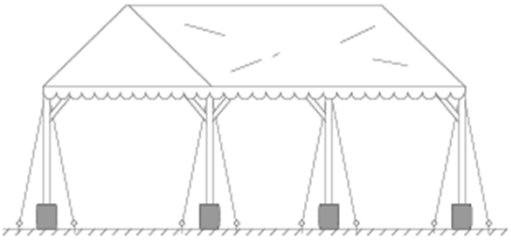
2．組立設置上の注意事項



警告!

①次の場合は、テントを使用しないで下さい。
　※天候不順の時、強風（**風速１０m/ｓ以上**予想される時。
　※飛ばされたり、倒れたりする恐れがあります。
②テントは必ず、電線、火気、炎から離れた場所に設置して
　下さい。
　※感電する危険があります。
　※火災の原因となり危険です。
③テントにぶら下ったり、物を吊ったりして、荷重を掛けな
　いで下さい。
　※破損・倒壊しケガの原因になり危険です。
④テントに弛みがなく、ピンと張った状態にしてご使用下さ
　い。
　※テント（天幕）とパイプ（桁）は、しっかりと固定して
　　ください。
　※多量の水が溜まりますとパイプが曲がり、人や物品に損
　　傷を与える原因となります。
⑤テントを組立てる際には、次の事項を注意して下さい。
イ．周囲から物が落下する恐れのない場所を選んで下さい。
ロ．平らな場所を選び、パイプテントが水平になるように設
　　置して下さい。
ハ．テントの組立てには必ず、組立て図の順序に従って下さ
　　い。
　　※効率よく設置ができます。
ニ．支柱、桁、棟等の折り曲げ部分に指や手を挟まないよう
　　ご注意下さい。
ホ．テントの組立て・解体等の際には周囲の人や器物にご注
　　意下さい。
ヘ．このパイプテントは一時的に使用するための構造です。常
　　設用に使用しないで下さい。

⑥組立が完了後は、必ずテント用ウェイト等を設置し、テント支柱や桁よりロープで支線をとり、地面に打込んだクイ等にしっかりと固定して下さい。



3．解体、撤去

☆解体、撤去は、組立と逆の順序で作業して下さい。その際に、桁、棟、支柱等の折れ曲がり部分、
　支柱の伸縮部分に手、指等を挟まない様に十分ご注意下さい。
☆テントの上に溜まった雨や雪は、解体の前に必ず取り除いて下さい。

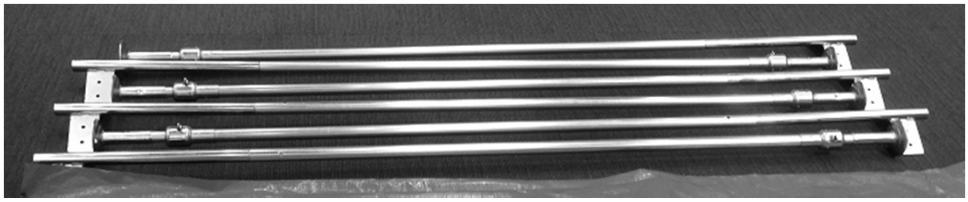
4．保守、点検

☆使用後は、汚れを落とし、風通しのよい場所に保管して下さい。
☆フレームのメッキ部分にサビ等が有る場合は、早期に補修して下さい。

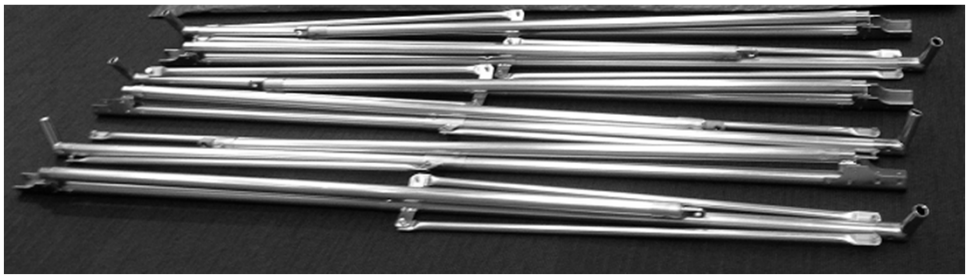
＊保管上の注意点＊
・保管の場所は高温多湿、及び直射日光を避けて保管して下さい。
（パイプの錆、幕のカビなどの原因になります。）
・火や水の周辺には置かないでください。

【テントセット内容】

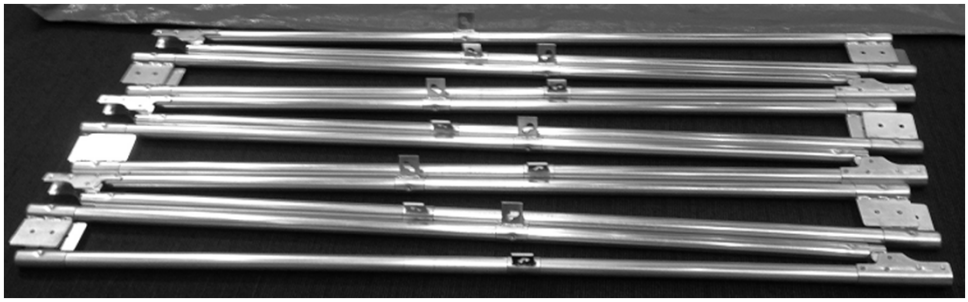
【テント1式】
NO5-1：支柱
NO5-2：流れ
NO5-3：桁
NO5-4：キャップ、ネジ等
NO5-5：天幕



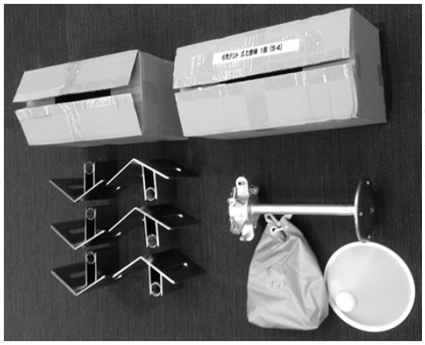
NO5-1
支柱6本



NO5-2
流れ6本



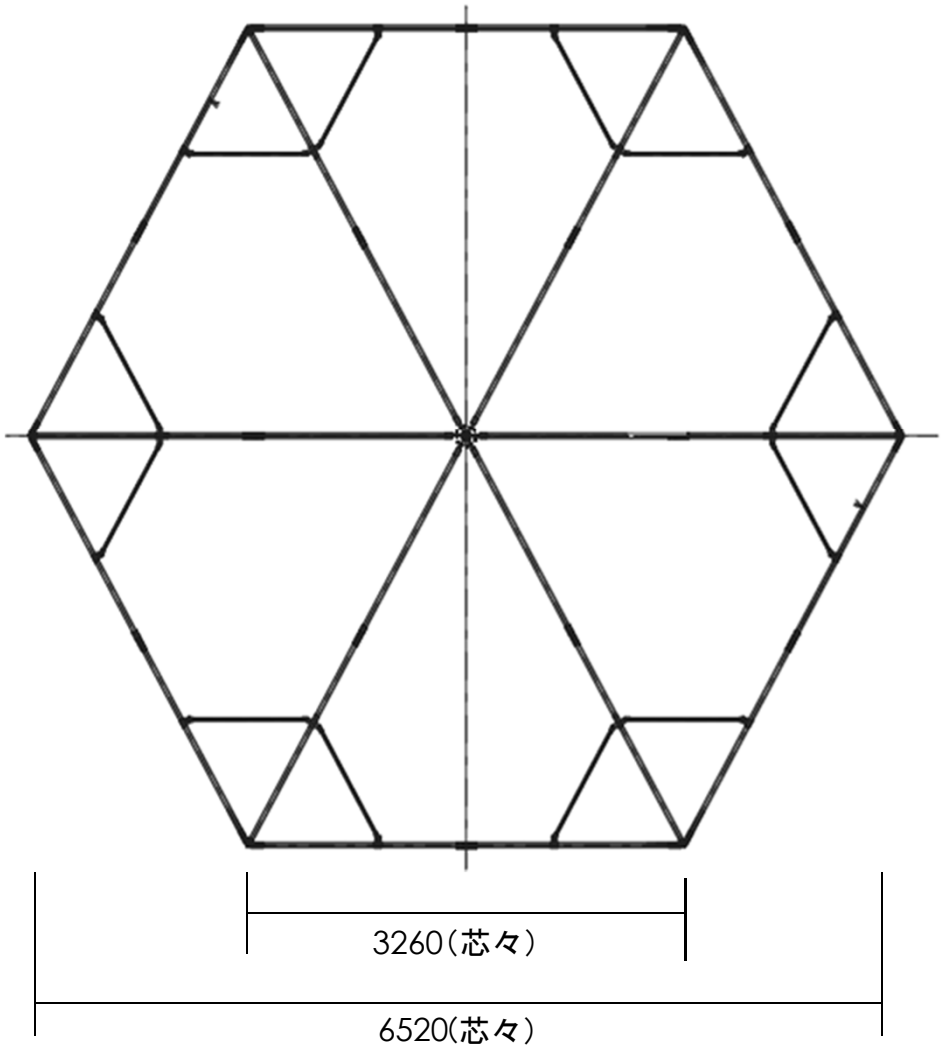
NO5-3
桁6本

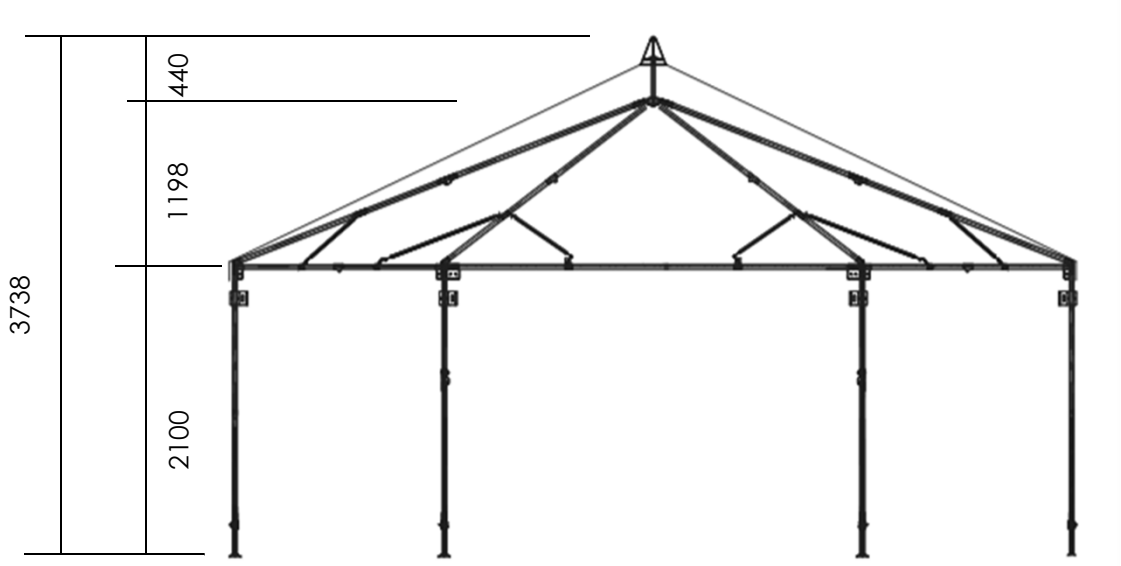


NO5-4
QS72連結
金具6個、
頂上金物1個、
キャップ1個、
ネジ1式

NO5-5
天幕1枚

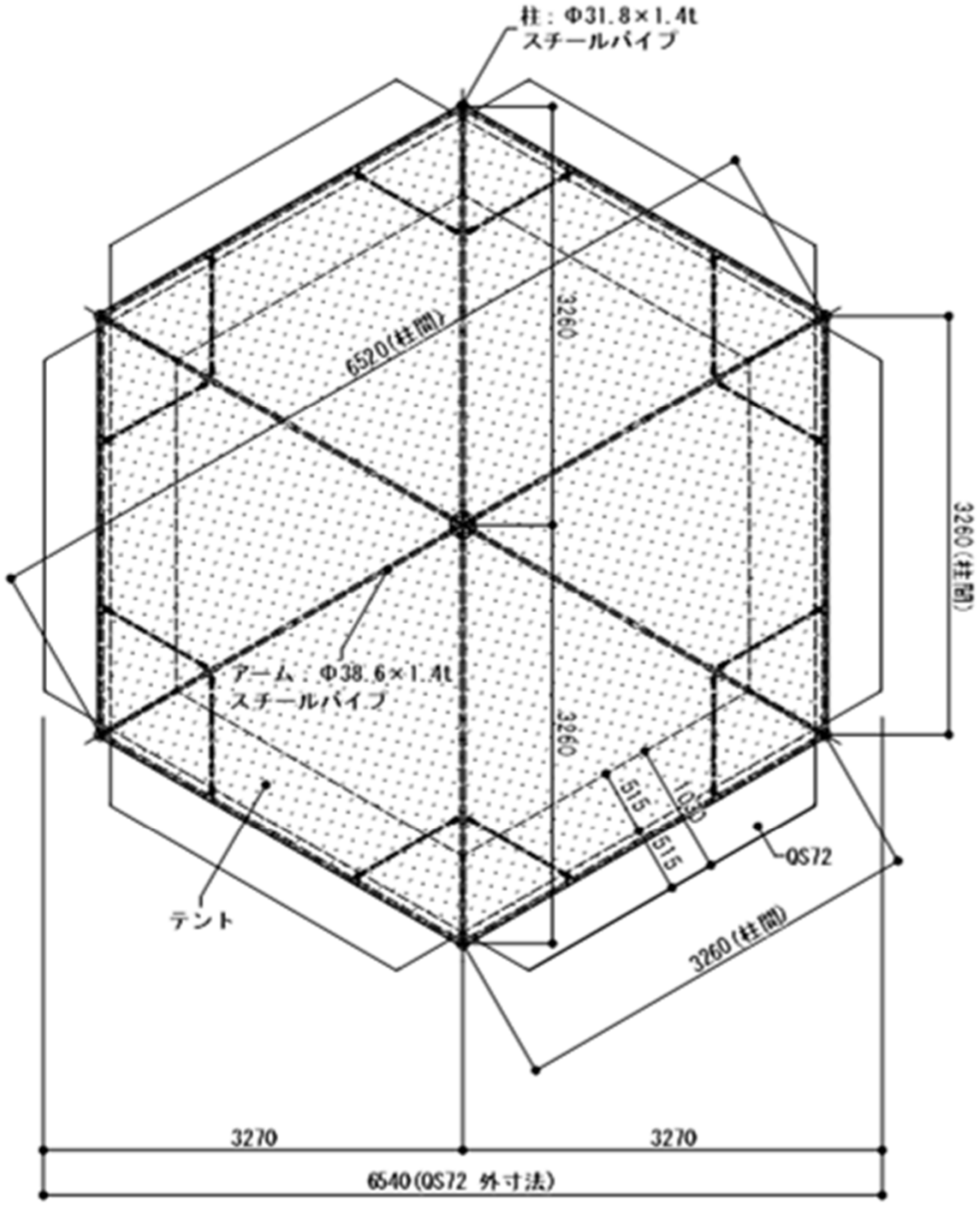
六角形テント寸法図





六角形（QS72組み込み）寸法図

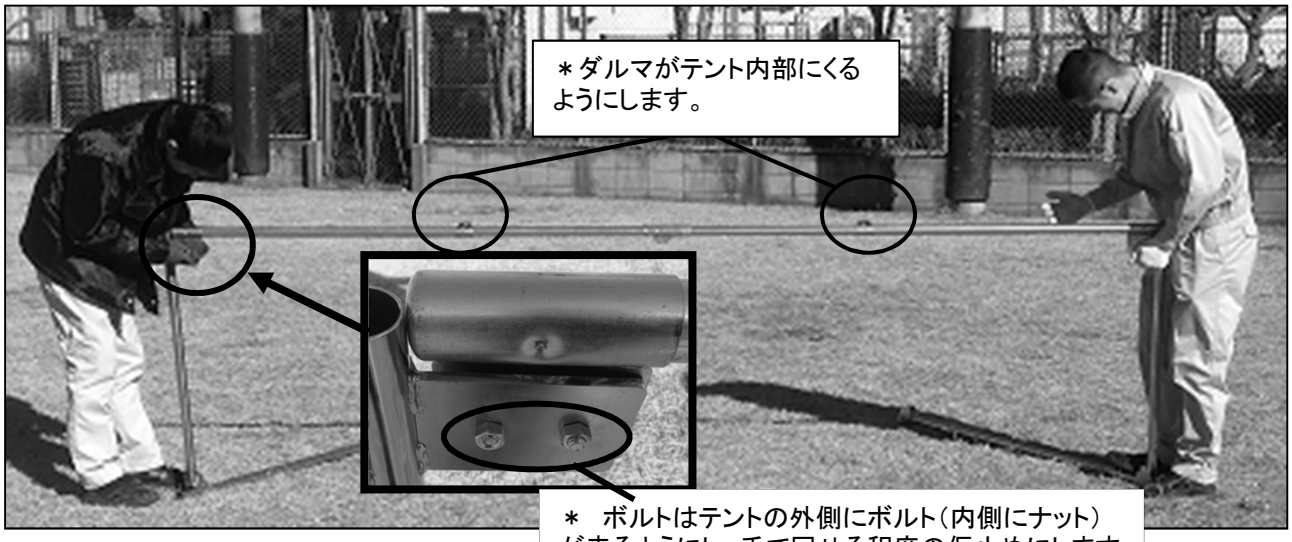
QS72を組み込んだ場合の全体寸法は、下記となります。
下記により設置位置を確認決定ください。



1　テント部の組立

Ⅰパイプの組み立て手順

①テントの位置を決めた後、正面の1辺になる場所に桁と支柱を用意してください。

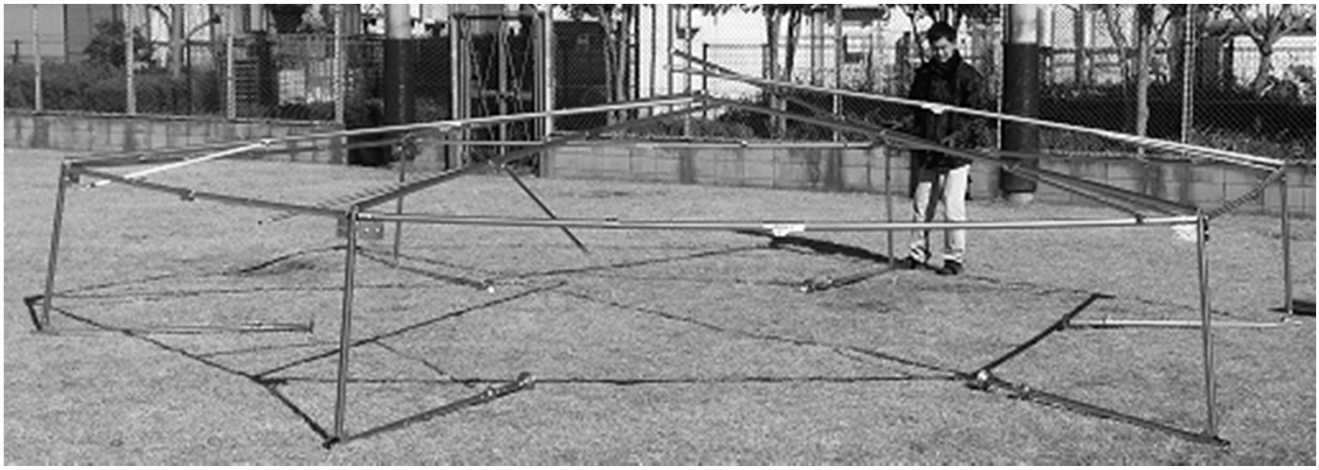


②二人一組で支柱に桁を固定します。

③支柱6本、桁6本で六角形に繋ぎます。

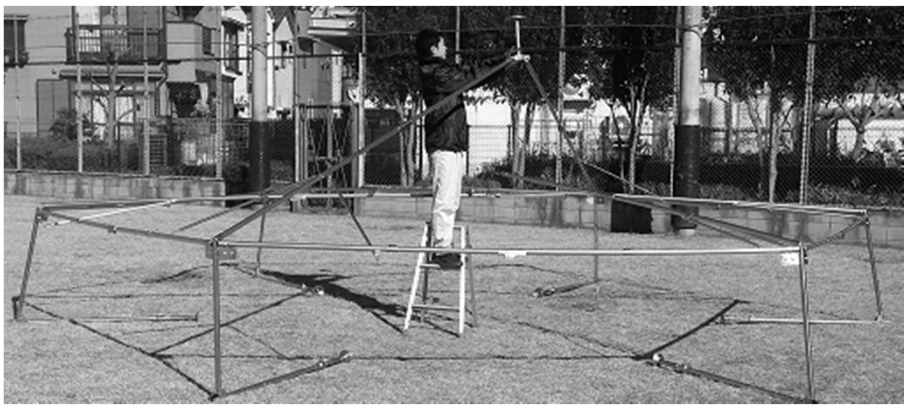
④流れのパイプを伸ばします。

⑤流れのパイプを支柱の中央の穴にあわせ差し込みます。

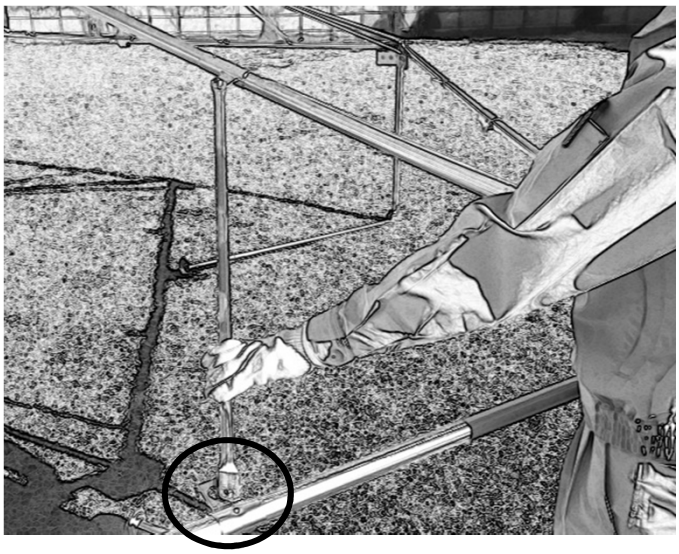


⑥支柱6箇所に流れパイプを全部差し込みます。

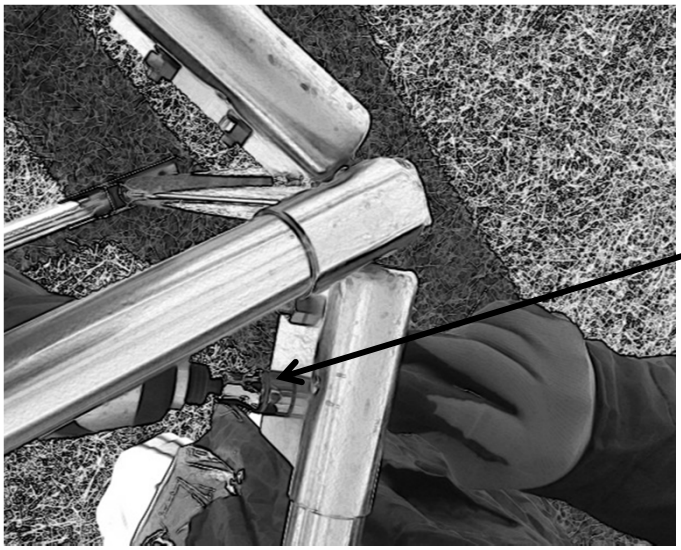
⑦頂上金物に流れの穴を差し込み、固定します。



⑧流れパイプ全てを⑦の要領で、頂上金物に固定します。



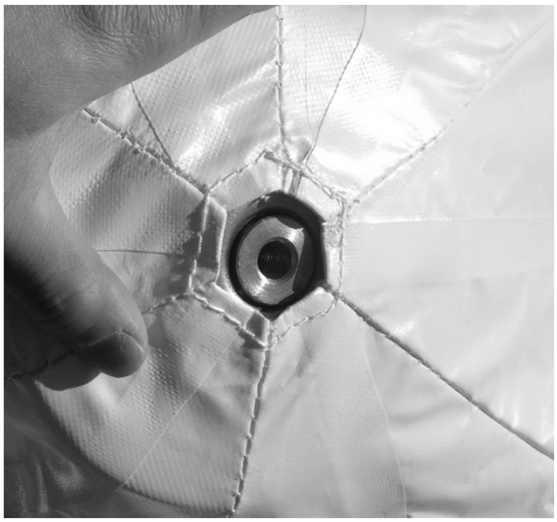
⑨流れの補助筋交いを桁のダルマに固定します。



⑩桁と支柱の固定ネジをインパクトで本締めします。

Ⅱ天幕の取り付け

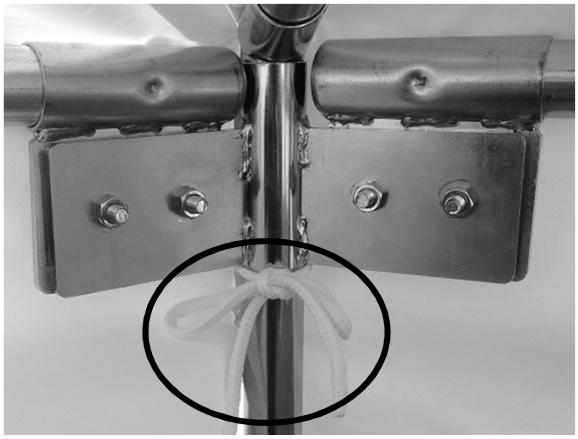
⑪天幕を半分ほど広げ後ろに回ります。(脚立をご用意ください)



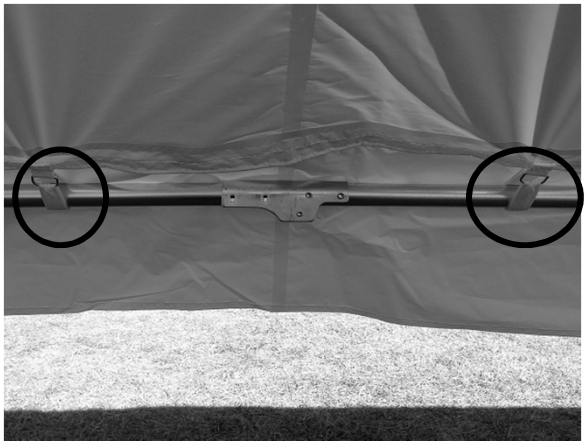
⑫天幕の頂上穴に頂上金物穴を合わせます

⑬テントの六角形の角部が合っている事を確認後キャップのネジを頂上金物にあわせ閉めます。

⑭キャップを締めた後、残りの生地を広げ天幕全体を被せます。



⑮天幕を広げた後、角の紐を支柱に固定し



⑯天幕張り用のマジックテープを梁に止めます。

⑰支柱を伸ばします。（必ず3本ずつ上げてください）

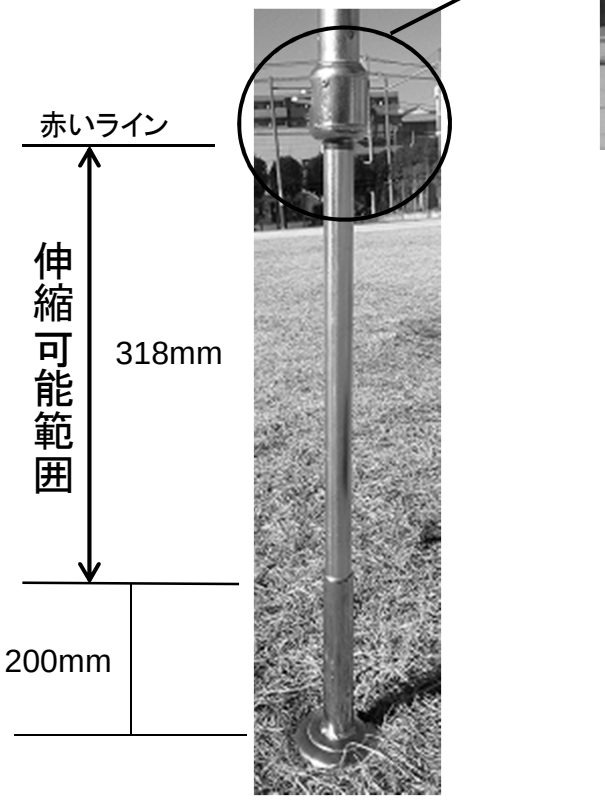
⑱支柱を伸ばした後、素早く首折れ部分(〇印の部分)に固定ネジを入れて固定します。

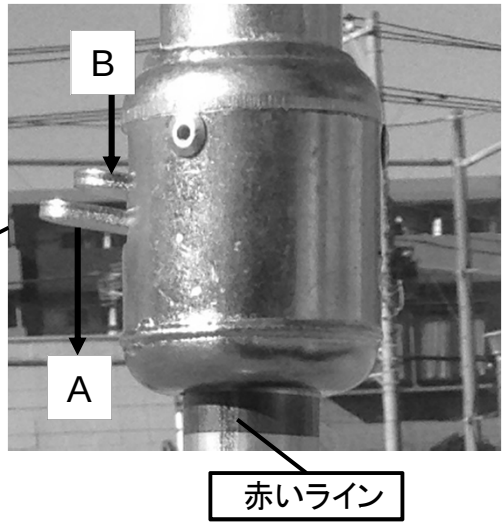
⑲テント部の完成です。
（QS72を組み込まず、テントとして仕様する場合は柱に紐で固定します。）

＊充分な養生を取り、風や雨による事故がないようにして下さい。

Ⅲ支柱の長さ調整

支柱の長さ調整は下記で行います。





・伸縮可能な長さは左記となります。

・Bを押しながら持ち上げると支柱が伸びます。

・Aを押しながら下げると支柱が縮みます。

＊注意
伸縮金具下の赤いライン以上に上げないで下さい。テントが非常に不安定になり危険です。

2 「QS72」の六角形テントへの組込み

1）QS72の組立

別冊の「QUICK　SPACE　72H　組立・取扱説明書」に従い必要なQS72を組み立てます。

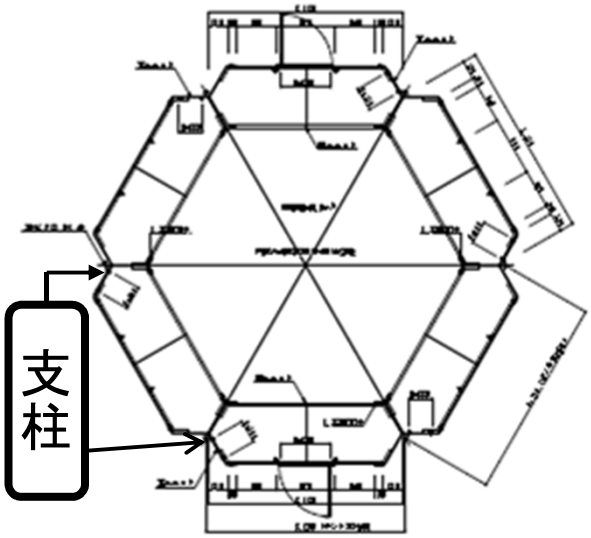
＊注意：面材（壁、扉、カウンター等のユニット）は最後に付けます。

2）QS72の六角形テントへの組込み

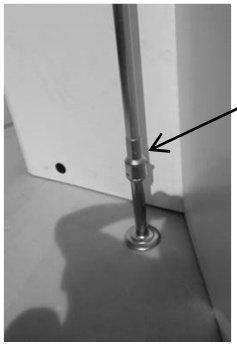
①テントの支柱を6本とも、300mm程度上方に伸ばします。（後でQS72を横から入れやすくするため）

この時作業者が2～3名の小人数時は、100mm　くらいずつ、順番に数回に分けて伸ばしてください。（一気に伸ばすとテントが歪んで作業がしにくくなります）

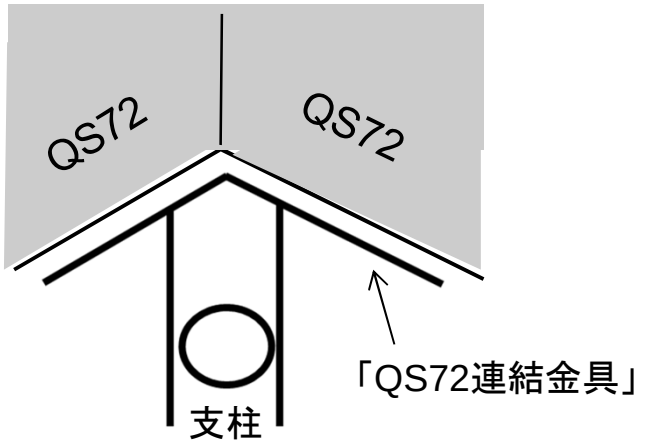
②上記1）で組み立てたQS72を、取り付ける部位を確認しながら写真のように支柱間に仮置きしていきます。



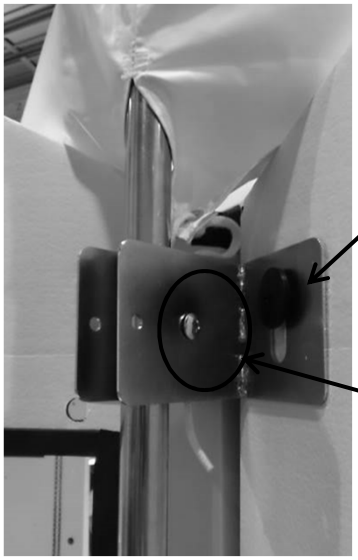
③上図のようにQS72の接続面のセンター外側にテントの支柱が来るようにQS72の位置を本決めしていきます。



④QS72の位置決めができたら①で300mm程伸ばしていた支柱を下げます。 この時、QS72の屋根部に天膜の垂れ下がり部が10mm程度かかるようにします。（雨、風対策）

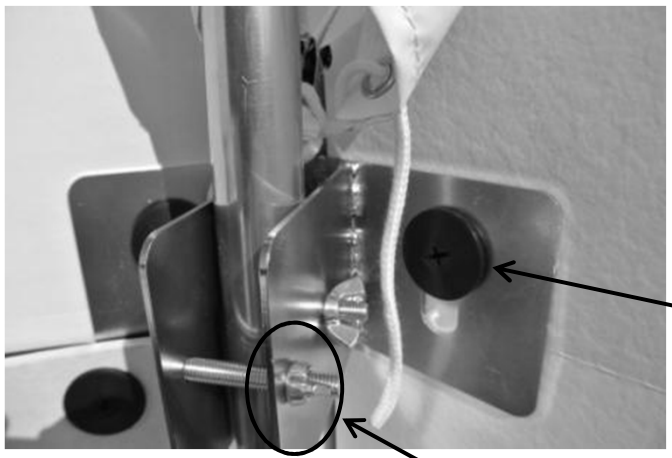


（テントの外部側）



⑤「QS72連結金具」を上図のように支柱に差しいれます。（支柱を少し上下させると入ります）

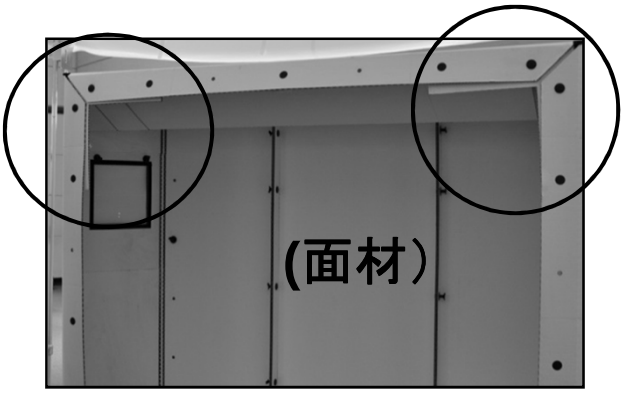
⑥QS72の上部穴に樹脂ボルト（オス、メス）で仮止めし、支柱の内側の穴にボルトを通し本止めします。



⑦支柱を挟んで外側にもう1本のボルトを入れ、本締めし、「QS72連結金具」の樹脂ボルトを本締めし、支柱とQS72を一体化します。

この部分から雨、
風が吹き込まない
ようにします。

⑧紐をボルトの内と外から絡め充分ひきつけ　⑨固定します。



⑩必要な面材を固定し、内壁がオープンタイプの場合は「L字固定材」でコーナー部の補強をします

⑪完成です。